

たておう だより Vol.13

2024.3月号



一般社団法人館林市邑楽郡医師会 在宅医療介護連携 相談センターたておう

相談センターたておうは
医療機関や介護関係者の連携を
推進するための専門職専用の相談窓口です

住民公開講座

日時：令和5年10月14日（土）14時～16時
場所：日清製粉ウェルナ三の丸芸術ホール
講師：非営利一般社団法人大慈学苑
代表 玉置 妙憂 先生
テーマ：「生き方・逝き方を考える」
～すこし楽に生きるためのご提案～



多職種を対象に6月に開催した玉置先生の講演が大変好評で、「是非地域の方々にもお聴かせしたい」と無理なリクエストをしたところ、ご快諾いただき今回の住民公開講座開催の運びとなりました。メディア等にも多く出演していることもあり、玉置先生の大ファンの方がたくさんいらっしゃいました。会場の座席も開場とともに、またたく間に埋め尽くされ、著書も数分で完売となりました。「立ち見でもいいから先生のお話を聴きたい」と皆さん熱心に傾聴されていました。540名のたくさんの方々のご参加ありがとうございました。

第45回 たておう研修会

日時：令和5年11月14日（木）19時～21時
場所：公立館林高等看護学院 4階 講堂
内容
レクチャー

「館林邑楽地域の目指すべき姿について」

講師：館林市役所 保健福祉部 高齢者支援課
地域包括ケア推進係 主任 多田 友則 様

グループディスカッション

テーマ：「4場面における館林邑楽地域のめざすべき姿」

在宅療養者の生活の場において、医療と介護の連携した対応が求められる4場面（①日常の療養支援②入退院支援③急変時の対応④看取り）をテーマとして医療・介護関係者や行政職など72名のメンバーでグループディスカッションを行いました。課題と感じていることの詳細例→課題の原因→原因が解消された後（専門職としての未来・高齢者にとっての未来）について、地域の実状に沿ったキーワードやヒントが出されました。令和6年度は、館林邑楽地域のめざすべき姿を明文化し共有していければと思います。多くの皆様のご参加ありがとうございました。

日常の療養支援 ・多職種連携による患者や家族の生活を支える観点からの在宅医療・介護の提供 ・緩和ケアの提供 ・家族への支援 ・認知症ケアバスを活用した支援	入退院支援 ・入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との連携・情報共有による入退院支援 ・一体的なスムーズな医療・介護サービスの提供
急変時の対応 ・在宅療養者の病状の急変時における住居や訪問看護の体制及び入院病床の確保 ・緊急の急変時における救急との連携共有	看取り ・住み慣れた自宅や介護施設等、患者が望む場所での看取りの実施 ・人生の最終段階における意思決定支援



第23回たておう合同学習会

日時：令和5年11月15日（火）13時30分～15時
場所：邑楽町役場 3階 大会議室
講師：医療法人康生会（社団）群馬県認知症疾患医療センター
つつじメンタルホスピタル 地域連携室 関塚 正治 様
テーマ：「認知症初期集中支援チームの取り組みの現状」

認知症初期集中支援チームの取り組みや支援チームへの依頼の仕方・活動の流れを詳しく教えていただきました。独居で認知症のある高齢者が、地域で安全に生活するためには、フォーマル・インフォーマルな関係者が相互に情報共有し、連携しながら支援を行うことが重要であると学びました。



第24回たておう合同学習会

日時：令和6年1月16日（火）13時30分～15時

場所：邑楽町役場 3階 大会議室

講師：株式会社 照和 代表取締役

介護コンサルタント 齋藤 和孝 様

テーマ：「ケアマネジャー向け！BCPの具体的策定ポイント」

2021年の介護報酬改定により全ての介護事業者はBCPの策定や訓練が義務化され、2024年4月までに、感染症および自然災害BCPの運用体制を整える必要があり、タイムリーなテーマであるため多くのケアマネジャーの方が参加されました。参加された方から「BCP作成について具体的なポイントを分かりやすく説明していただきとても参考になった」「とても丁寧な説明で聞きやすかった」と感想が寄せられました。今回学んだ知識を今後の計画策定に活かしてほしいと思います。



第46回 たておう研修会

日時：令和6年2月15日（木）19時～21時

場所：公立館林高等看護学院 2階 視聴覚室

講師：医療法人康生会 つつじメンタルホスピタル 理事長

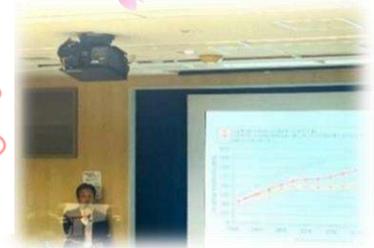
慶應義塾大学医学部精神神経科/メモリークリニック

特任准教授 田淵 肇 先生

テーマ：「認知症の方と家族を支えるために専門職として知っておきたいと」

～高次脳機能障害の理解を含めて～

高齢者、認知症の方は、運動を通じて予防していくことが大事。「認知症の介護は長期戦になるため、社会的資源を最大限に利用し手抜きの介護をしましょう」と教えていただきました。認知症について深く学ぶことができた研修会でした。ありがとうございました。



第25回たておう合同学習会

日時：令和6年3月12日（火）13時30分～15時

場所：邑楽町役場 3階 大会議室

講師：邑楽館林医療企業団 公立館林厚生病院

緩和ケア認定看護師 島野 玲子 様

テーマ：「身体と心の痛み」～倫理的視点を入れて考えてみましょう～

島野様の講演会は、今回で通算4回目となりました。「推しとは何か？身体の痛み/心の痛みを感じた事があるか？」というテーマでお隣の方と意見交換する場面がありました。初対面同志とは思えないほど、お話しが盛り上がっていました。リラックスした気持ちで学習会に望めるようにと工夫された講演内容でした。参加された方からは、「臨床倫理4原則が知れて良かった」「痛みをとった先のQOLが大切という考え方が勉強になった」と感想が寄せられました。令和6年度Part5も楽しみにしています。



エンディングノートサミットinきりゅう

令和6年1月13日（土）美喜仁桐生文化会館スカイホール
+ライブ配信（YouTube）エンディングノートサミット
inきりゅうのお手伝いに参加しました。

会場参加者：96名

オンライン参加者：100カウント

当日は午後から雪が降り悪天候でしたが、県内から多くの方が会場に足を運んでくださいました。グリーンケア・アドバイザーや納棺師の方の講演もあり大変貴重な体験ができました。県内全てのエンディングノートが集結し参加された方に配布されました。MOTTEも、配布させていただきました。



MOTTE出前配布

医療とケアに特化しているエンディングノート MOTTE：もしもの時に想いを伝える手帳を出前配布（無料）しています。また、書き方のポイントやコツをわかりやすく解説する書き方講座も実施しております。ご用命、ご不明な点等ございましたら、下記までお問合せください。

お問い合わせ

在宅医療介護連携相談センターたておう
〒374-0043 群馬県館林市苗木町2497-17
TEL:0276-55-0118
FAX:0276-73-0215
✉:tateou-sudan@mail.gunma.med.or.jp